

公開情報資料

整理番号	2022.04-5	
研究課題名	放射性医薬品の実投与量に三方活栓とシリンジの残存量が及ぼす影響-異なる三方活栓と共洗いの効果-	
研究期間	2021年1月4日～2021年7月30日	
研究目的	放射性医薬品投与時に使用する三方活栓とシリンジ内に残存する放射性医薬品の量、および共洗いの効果を検証すること	
研究方法	研究対象範囲	研究期間に当院で骨シンチグラフィ、ドパミントランスポータシンチグラフィ、脳血流シンチグラフィを受けた症例
	利用する情報等	シンチグラフィ検査で使用する薬剤の投与前、投与後の放射線量
	利用方法	電子カルテ記載からの情報収集、線量管理ソフトからの情報収集
	他機関への提供	なし
研究責任者	岡山赤十字病院 放射線科 都能 和俊	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	